

2020年2月北海道・標津研修会の様子が

新聞に掲載されました!

2020年2月22日(土) 釧路新聞

2020年(令和2年)2月22日(土曜日)

釧路新聞

釧路新聞

SENSHIN

根室版

標津の冬の魅力満喫

首都圏の留学生ら町内で研修

【標津】首都圏で学ぶ大学生や外国人留学生が20日から、研修で町を訪れている。一行は町内を中心に道の文化や自然などを学んでいる。留学生支援や国際交流促進に取り組む共立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町エコ・ツーリズム交流推進協議会が中心となって受け入れている。

今回はベトナムやインドネシア、台湾、中国などから訪れている16人が来町した。一行は町生涯学習センターで歓迎を受けた後、サイモン科学館を見学し、サケについて学習した。翌日は郷土料理の芋餅作りにチャレンジし、羅臼町で流水を観察したりバードウォッチングなどを行った。



歓迎式で自己紹介する留学生

東京都新宿の日本語学校に通うグレイ・マドウさん(27)は「北海道に来るのは初めて。文化や料理に関する」
と笑顔を見せていた。一行は25日まで滞在し、標津の冬の魅力や自然を満喫する。
(會田俊実)

レイアウト・西山 真

2020年2月北海道・標津研修会の様子が

新聞に掲載されました!

2020年2月27日(木) 釧路新聞

釧路

新聞

2020年

(令和2年)

2月27日(木曜日)

釧路新聞

SENSHIN

根室版

留学生ら「思い出できた」

標津研修旅行終了、お別れ式

【標津】首都圏で学ぶ大學生や外国人留學生を対象とした研修旅行が25日、全日程を終了した。同日は町生涯学習センターでお別れ式が行われ、留學生らが別れを惜しんだ。留學生の支

援や国際交流促進に取り組む公立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町エコ・ツーリズム交流推進協議会が中心となって受け入れられている。今回は20日に町を訪れ



お別れ式で関係者からの激励を受ける留學生ら

た。初日はベトナムやインドネシア、台湾、中国などの留學生ら16人が町のシンボルでもあるサケについてサーモン科学館で学んだ。21日には郷土料理の手餅作りにチャレンジしたほか、羅臼町で流水見学やボードウォッチングを行った。ホームステイ先での遊びや雪を使った遊びなどを通じ地元の人たちと交流した。

お別れ式で、筑波大学大学院生でウクライナ国籍のネケロワ・マリナさん(30)は「忘れられない思い出があった。研修会の準備をしてくれた町の人たちに感謝している」とあいさつ。町

レイアウト 藤本 直巳

(會田俊美)

2020年2月北海道・標津研修会の様子が
新聞に掲載されました!

2020年2月27日(木) 北海道新聞

北海道新聞

2020年(令和2年)2月27日(木曜日)

留学生標津の冬体験

首都圏から16人
研修旅行で訪問

北海道新聞



標津町での歓迎式で自己紹介する留学生たち

【標津】首都圏の日本語学校や大学で学ぶ外国人留学生16人が20～25日の6日間、研修旅行のため町内を訪れ、ホームステイや雪遊びなどを楽しんだ。日本語を学ぶ学生を支援する共立国際交流奨学財団(東京)と町の共催事業。研修旅行の募集に手を挙げた中国、インド、ウクライナ、ネパールなどの出身で、20～30代の留学生が自費で参加した。

初日の20日に町生涯学習センターで開かれた歓迎式で、町内の観光関係者の出迎えを受けた留学生たちは、1人ずつ自己紹介し、「雪を見るのは初めてで楽しみ」などと笑顔で話した。

旅行中は、町民宅でホームステイをして地方の暮らしを学び、ミルクジャムや、いもち作りを通して食文化に触れた。スキー体験や羅臼町での流氷クルーズなど、雪国ならではのアクティビティも体験した。

(長谷川史子)